

○題材の目標及び評価規準の設定

技術・家庭科(技術分野)の場合、題材の目標を、次のように設定します。

(1)の「知識及び技能」の目標については、基本的に各内容A～Dの指導事項アの文末を「～について理解する。」「～できる。」として示す。

(2)「思考力、判断力、表現力等」の目標については、基本的に各内容A～Dの指導事項イの文末を「考える。」として示す。

(3)「学びに向かう力、人間性等」は基本的に学習指導要領解説に例示されている文章(A(1)ではP27, 6行目～)やP60「技術分野 資質・能力系統表」を参考に「～の態度を育成する。」として示す。

題材の評価規準は、学習指導要領解説P60「技術分野 資質・能力系統表」等を参考にしながら具体的に作成する。

◆「知識・技能」は、基本的には当該項目で育成を目指す資質・能力に該当する指導事項アについて、その文末を分野の観点の趣旨に基づき、「～について(を)理解している」、「～ができる技能を身に付けている」として作成する。

◆「思考・判断・表現」は、基本的には当該項目で育成を目指す資質・能力に該当する指導事項イについて、その文末を分野の観点の趣旨及び学習過程における各項目の位置付けに基づき「～について考えている」として作成する。

◆「主体的に学習に取り組む態度」は基本的には、分野の観点の趣旨に基づき、当該項目の指導事項ア、イに示された資質・能力を育成する学習活動を踏まえて、文末を「～しようとしている」として作成する。

また、この観点の評価規準は、一連の学習過程で育成される資質・能力の関連に配慮し整理することが大切である。例えば、各内容における(1)で身に付ける「知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」の資質・能力は、各内容における(2)及び内容の「D情報の技術」の(3)の「技術による題の解決」の学習に生かされるものであることから、各内容の(1)では「主体的に技術について考え、理解しようとする態度」について評価することが考えられる。

子供たちに求められる資質・能力を確実に育むためには、「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善を進めていくことが重要です。そのため、題材を通してどのような子供たちの姿を目指していくのかを明確にイメージし、題材を構想しましょう。

中学校第3学年 技術・家庭科（技術分野）学習構想案

1 題材構想

題材名	D情報の技術 「プログラムを用いた栽培管理システムを作ろう」		
題材の目標	(1)計測・制御システムの仕組みを理解し、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。 (2)前題材で実施した栽培活動から問題を見いだして課題を設定し、その解決のために計測・制御システムを構想して具体化し、最適なプログラムの制作やデバッグ、結果の評価、改善及び修正について考える。 (3)、自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとする態度や、自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとする態度の育成する。		
題材の評価規準	知識・技能 ①生活や社会で利用されている基礎的なプログラミングの知識と栽培の管理作業との関わりについて理解している。 ②安全で最適なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。	思考・判断・表現 ①栽培に関わる問題を見いだして、必要な機能をもつコンテンツのプログラムや計測・制御システムの設計・製作などの課題を設定し、具体的な解決策を構想しようとしている。 ②作成したプログラム等を評価・改善して課題を解決する力を身に付けているとともに、よりよいシステムになるように改善しようとし続けようとする力を身に付けている。	主体的に学習に取り組む態度 ①よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んでいる。 ②自身の課題解決について振り返ったり、改善したりして、情報の技術を工夫し創造しようとしている。
題材終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）	生活の中から問題を見だし、自ら課題を設定し、課題解決に向けたプログラムを設計・作成し、完成したプログラムを最適なものにしようとし、改善し続けようとする姿		
題材を通した学習課題（単元の中心的な学習課題）	①よりよい管理作業をおこなうために、最適なプログラムを作成しよう。	②本題材で働かせる見方・考え方 管理作業を自動化する際に、社会からの要求、安全性、経済性等に配慮しながら、プログラムを作成し、最適化すること。	

★「題材を通した学習課題」のポイント

- 子供たちが題材を通して興味・関心をもって深く考えることができる学習課題ですか
- 見方・考え方を働かせて課題解決を図ることができるものですか
- 子供たちと共有できる表現ですか
- 題材のゴールの姿に迫るものですか

統合的な問題を解決するため、「B生物育成の技術」で見いだした問題から課題を設定し、「D情報の技術」(3)において解決することを想定して書き表した例

- ①学習内容や指導事項に関する言葉を示しています。
- ②必然的に見方・考え方を働かせるような、表現をすることも考えられます。

★「題材終了時の子供の姿」のポイント

- 目標や評価規準を踏まえ、具体的な学習や生活の場面での子供の姿となっていますか  
(文末は「～している(しようとしている)子供(児童生徒)」)
- 子供たちと共有できる表現になっていますか

今後の実生活の場面で、学習したことを生かそうとする姿を想定して、書き表した例

- ⑦実生活の場面を示しています。
- ①本題材の学習内容、目標や評価規準を要約している言葉を示しています。
- ②実生活の場面でどのように活動したり、考えたりしようとしているかを示しています。

★「本題材で働かせる見方・考え方」のポイント

- 題材を通した学習課題を解決するための見方・考え方となっていますか
- 見方・考え方を働かせると深い学びになりますか

題材を通した学習課題を踏まえて、どのような視点で物事を捉えて(見方)、どのような考え方で思考していくか(考え方)を想定して、書き表した例

- ③教科等の特質に応じた見方に関する内容を示しています。
- ④教科等の特質に応じた考え方に関する内容を示しています。